外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000078			
事業所名	グループホーム 名古屋荒子の家			

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価				
重点項目①	毎日の散歩時に挨拶を交わしたり、公園で小さな子供たちや母親と接したり、町内会の清掃行事に参加するなどして交流してきたことで、事業所が少しずつ近陽に周知されてきている。野菜や果物、花などの差し入れをもらったりもする。ボランティアの訪問もあり、フラダンスは一緒に踊ったり、衣装を着せてもらったりして利用者がとても楽しんでいる。					
	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価				
重点項目②	会議は二ヶ月に一度、家族やいきいき支援センター職員などが参加して開かれており、事業所の活動報告や地域の行事の情報を得る場となっている。今はまだ実現していないが、協力医や訪問歯科医の参加や講習の話も持ち上がっており、そこに地域住民も招待するといった広がりを模索中である。	0				
	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価				
重点項目③	生活保護者の受け入れなどで区の担当者と連携をとっている。区役所で開かれた事業所交流会に参加したり、外部研修に参加するなどしている。	0				
	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価				
重点項目④	毎月、請求書に添えて利用者一人ひとりの様子を記した手紙を家族に送付している。行事の前に家族と連絡をとったり、計画作成前に家族と話し合うなどする機会がもたれ、その時に要望や意見を聞くようにしている。具体的な要望があれば支援に組み込まれている。	0				
重	その他軽減措置要件	評価				
点項	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	0				
目 (5)	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。					
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。						
総 合 評 価						

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の 実践状況(外部評価)が適切であること。
- 2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確 認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、 家族等意見の 反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	×	0	0	0				